平成令和４年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工　業	科目	電子機械(選択)	単位数	２	学年	３	科	電子機械科

１、科目の目標

電子機械に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

２、使用教科書・副教材

電子機械　(実教出版)

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	＜電子機械と産業社会＞ ・身近な電子機械 ・電子機械と生産ライン ＜センサとアクチュエータの基礎＞ ・センサの基礎 ・機械量を検出するセンサ ・物体を検出するセンサ	中間考査 期末考査	２０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	・その他のセンサ ・アクチュエータの基礎 ・アクチュエータ駆動素子とその回路 ・アクチュエータとその利用 ＜シーケンス制御回路の基礎＞ ・制御回路の基礎	中間考査 期末考査	２８
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	・シーケンス制御回路の基礎 ・プログラマブルコントローラ ・シーケンス制御の実際 ＜コンピュータ制御の基礎＞ ・コンピュータとインターフェース ・外部機器の制御	学年末考査	２２

４、評価の方法

主体的な言語活動		授業内容の説明や発問において、対話形式を大切に進める。
	関心･意欲･態度	関心と意欲を持ち、授業に取り組んだかを総合的に判断する。
	思考･判断･表現	論理的思考について理解を深め、問題などが解けたか観察する。
	観察･実験の技能	学習の記録としてのノートが、まとめられているか確認する。
	知識･理解	基礎的な知識を理解し、定着しているか定期考査や課題で確認する。

５、学習にあたっての注意とアドバイス

・良く分からない点や最新事情などは、ネットなどで調べ、理解するように指導する。
・プリントを活用して、理解度を高めると共に、問題解決能力を身につける。